
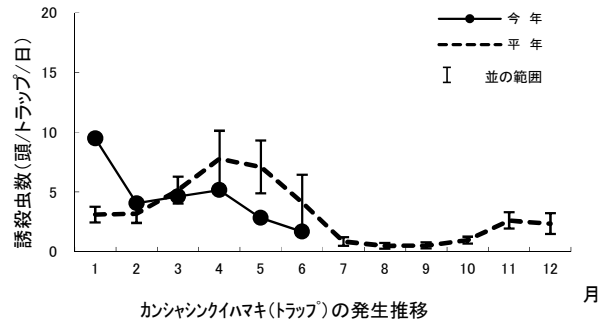
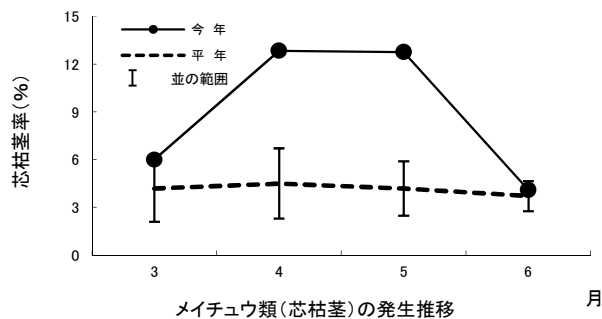


作物	さとうきび	地域	八重山群島
病害虫名	① メイチュウ類(カンシャシクイハマキ)		
6月の発生量(現況)		やや少	
7月の増減傾向		↓	
増減傾向の根拠		トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、6月より発生量は減少すると考えられる。	


発生量の根拠(調査結果)



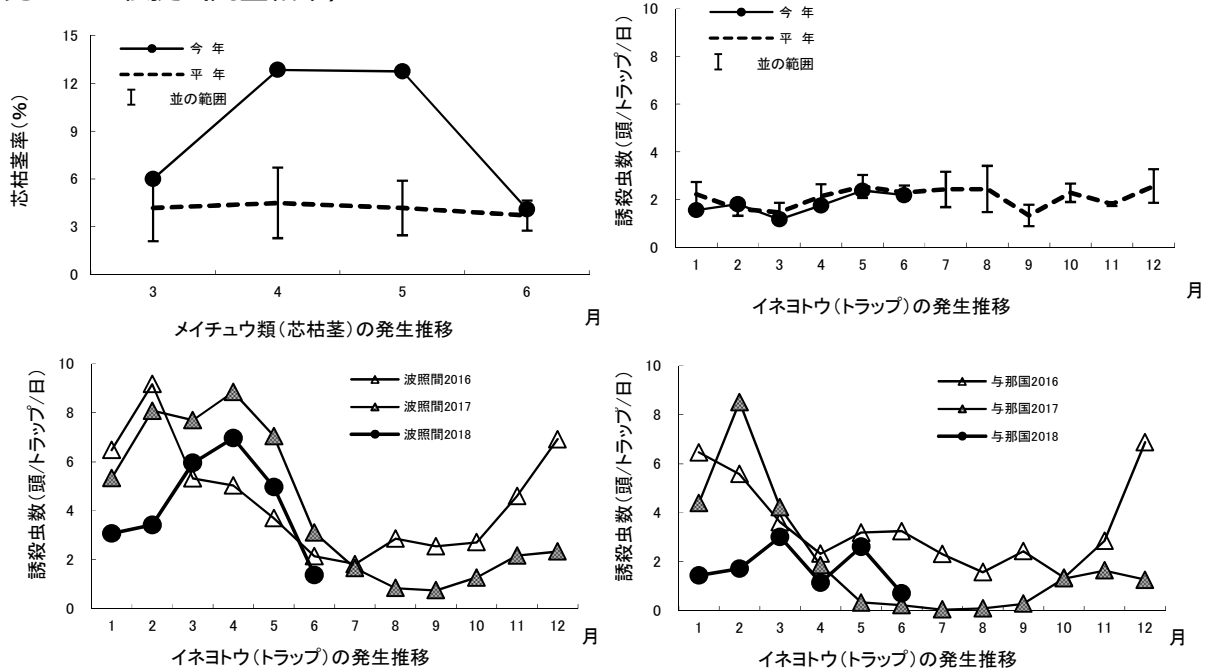
- ・ 調査作型：株出し、調査地域：石垣市
- ・ 芯枯茎率 (%)：4.1 (前年3.5、平年3.7、判定「並」)
- ・ 芯枯茎内幼虫の割合 (%)：イネヨトウ72.7、カンシャシクイハマキ27.3
- ・ フェロモントラップ誘殺虫数(頭/日)：1.7 (前年3.6、平年4.1、判定「やや少」)
- ・ 防除員による報告(メイチュウ類)：中発生(波照間島)、少発生(与那国島)

防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 平成29年度病害虫発生予察注意報第6号参照。

作物	さとうきび	地域	八重山群島
病害虫名	② メイチュウ類(イネヨトウ)		
6月の発生量(現況)	並		
7月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、6月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)



- ・ 調査作型：株出し、調査地域：石垣市
- ・ 芯枯莖率(%)：4.1(前年3.5、平年3.7、判定「並」)
- ・ 芯枯莖内幼虫の割合(%)：イネヨトウ72.7、カンシャシクイハマキ27.3
- ・ フェロモントラップ誘殺虫数(石垣市、頭/日)：2.2(前年1.3、平年2.3、判定「並」)
- ・ 防除員による報告(メイチュウ類)：中発生(波照間島)、少発生(与那国島)

防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ莖を枯死させる。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、莖と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 平成29年度病害虫発生予察注意報第6号参照。